

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

令和4年11月17日(木)

【協議事項】

1 令和5年度福岡県警察運営指針等(案)について

(警務部)

警察本部から「令和5年福岡県警察運営指針等(案)については、本年の運営指針等をベースに、現下の治安情勢等を踏まえて必要な変更を行っている。御審議をお願いする。」旨の説明があった。

公安委員から「安倍元総理大臣の銃撃事案があり、要人警護の在り方が問題となったが、重点目標に入れていないのか。」旨の発言があり、警務部長から「重点目標の一つであるテロの未然防止に包括される。」旨の説明があった。

公安委員から「来年は県内で国際的な大規模イベント等の開催も予定されており、テロ対策の重要性が高まっている。県民のテロに対する意識を高めるためには、警察はもちろん関係機関・団体等による啓発活動も必要ではないか。」旨の発言があり、警察本部から「本県では、テロを未然防止するため、関係機関・団体、民間事業者及び地域住民等が緊密に連携し、継続的に各種テロ対策を推進することを目的としたテロ対策福岡パートナーシップ推進会議を設立しており、今後も官民一体となったテロ対策を推進していく。」旨の説明があった。

公安委員から「重点目標に掲げられているニセ電話詐欺に関して、本県の被害は、全国と比べてどうか。」旨の発言があり、警察本部から「全国的にニセ電話詐欺の認知件数、被害総額は前年同期比で増加しており、本県も同様である。」旨の説明があった。

公安委員から「サイバー空間の脅威への的確な対処には、専門捜査官等の採用者を増やすことも含まれるのか。」旨の発言があり、警察本部から「採用者を増やすだけでなく、部内の素養のある者に民間研修を受けさせるなど、人材の育成にも力を入れていく。」旨の説明があった。

公安委員から「児童虐待の対策の充実は、子供たちの未来だけでなくこの国の未来をも左右する。また、子供の安全は、国としての魅力の指標の一つでもあるので、しっかりと取り組んでもらいたい。」、公安委員から「そのためにも行政の縦割りをなくして、横の連携を強化してもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「子供の安全確保は大人の責務である。関係機関はもちろん県民とも協力して児童虐待への対策を進めていきたい。」旨の説明後、本件は了承された。

【報告事項】

1 12月定例県議会の日程について

(総務部)

警察本部から「12月定例県議会は、12月1日から12月20日までの20日間の日程で開催される。警察委員会では、令和4年度福岡県一般会計補正予算、福岡県警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定等3件の審査を予定している。」旨の報告があった。

2 年末年始における特別警戒活動の実施について

(生活安全部)

警察本部から「12月1日から来年1月3日までの34日間、年末年始における県民生活の安全・安心の確保を図るため、特別警戒活動を実施する。警察署では、金融機関、コンビニ等における警戒活動や強盗対応訓練、ニセ電話詐欺被害防止キャンペーン、飲

酒運転撲滅キャンペーン、登下校見守り活動及び防犯ボランティア等と協働した夜間パトロール等警察の総合力を発揮した顕示効果の高い警戒活動や地域における防犯活動を推進していく。」旨の報告があった。